

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p>○明るい挨拶がとびかい、モクモク掃除に徹し、友だちを誘って仲良く遊ぶなど、 素直で温かい学校文化が学校中に満ち、安心して学ぶことができる学校</p> <p>○元気よく笑顔で気持ちのよい挨拶ができ、進んで学ぶ子ども</p> <p>○共感的に子どもを理解し、個に応じたきめ細やかな指導ができる教員</p>		分かる授業の改善と、各学年に応じた家庭学習の定着化	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ研究で検証している学び合い活動の一般化(他教科等での実践) ○学年及び近接学年における交換授業の実施 ○家庭学習未定着の子どもへの個別の支援と、家庭へのはたらきかけ(2月が3回目の強化月間)
		防げるケガ・事故の削減に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員による今年度の事故報告分析による「防げた事故」の確認と手立ての構築 ○子どもの危険防止能力等、安全教育の充実
		やさしい言葉遣いと規範意識の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○5つのゼロ運動の取組における組織力強化 ○ふわふわ言葉の見える化 ○生徒指導事案対策としての組織的な取組と全職員による共有化 ○JRC環境委員会によるボランティア活動の推進と、縦割清掃の取組
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
<p>楽しい授業・わかる授業づくりと、家庭学習の習慣化を図る。</p>	テーマ研究の算数の授業公開を全研3回、部研3回、学年研9回を行い、全員授業公開を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ研の授業研では、夏季休業中に指導案を作成し、講師の指導助言を受け、検証授業では部研も講師招聘し理解が深まった。職員の意識も向上している。 ○かく活動においても1時間の学習過程に計画的に位置づけ、2学期末の学校自己評価では86%(4点満点中3.44)を記録した。 ○定着度調査においては、市平均と同程度か、やや下回る結果であった。 ○家庭学習の定着度調査は1回目が56%、2回目は1~4年で5~9ポイント伸びたが、高学年が落ち込み、全体としては54%の達成状況であった。 	
	1時間の学習過程の中に「かく活動」を必ず1回は取り入れ、自分の考えを深めさせる。(職員自己評価80%)		
	福岡市生活習慣・学習定着度調査において、市平均まで高めることができるようにする。		
	6. 11月に家庭学習の定着度調査を実施し、学年×10分~15分の学習時間80%以上の定着をめざす。		
<p>規範意識の醸成と、ケガのない落ち着いた学校生活を送る。</p>	昨年度のケガの傾向を分析し、病院搬送事故71件から半分に減らす。	<ul style="list-style-type: none"> ○1月末現在、16件の病院搬送事故であり、昨年度と比べると大幅に減らせることができている。 ○2学期末の子どもによる自己評価では、「廊下や階段は右側を静かに歩く」が71%の達成率であった。 ○安全の日の全職員による点検活動では、職員による積極的な取組がみられ、営繕事項については教頭がすぐに対処することができた。 ○読書マラソンについては、高学年での達成者がやや少ないものの、1月末現在で112枚の賞状を配付することができ、本好きの子どもが少しずつ増えてきている。また、保護者からも取組に対する好意的な意見を複数聞いている。 	
	毎月のめあてを守るために、各学級で具体目標を決め、児童による自己評価85%をめざす。		
	毎月1日の安全の日のチェックや日常の管理を徹底し、校長・教頭・教務の日々の巡回を確実に行う。		
	読書運動に取り組む。一定量(50、100、200冊・・・)を読んだ児童に賞状を配布(目標400枚)する。		
<p>いじめのない、支え合い励まし合う学級集団づくりに取り組む。</p>	交換授業を4年生以上において2学期以降、年間25時間以上実施し、学年単位で子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○主に2クラス間の交換授業は職員の年齢や得意教科等の課題より、6年生担任による音楽と体育の交換授業以外はあまりできていない。 ○週1回のクラスみんなで遊ぶ日の取り組みでは、80%(4点満点中3.2)の自己評価であった。 ○2学期末の5つのゼロ運動では、いじめゼロの取組では89%の児童が守れたと回答している。この課題について100%を目指す必要がある。ふわふわ言葉の見える化は有効である。 ○ASSESSアンケートを計画通り実施し、要支援群の児童の確認と聞き取り、支援等、学級づくりに生かした。 	
	ミニ集会を定期的に行ない、毎週1回はクラスみんなで遊ぶ日を設定する。(職員自己評価60%をめざす)		
	各学級でふわふわ言葉の木を掲示し、その花を咲かせるように取り組む。児童の自己評価85%をめざす。		
	4年以上のQU以外に、2~3年で年2回、4年以上で年1回のASSESSアンケートを行い、児童支援に努める。		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<p>○落ち着いて学習に取り組んでいる様子が伺える。</p> <p>○子どもたちはよく挨拶をするようになってきている。ただ、子どもにより声が小さかったり、中には恥ずかしいのか下を向いて素通りしていく子どももいる。</p> <p>○3学期から新時制の午前中5時間授業が始まり、学校がよりよい方向へ変わろうとする意気込みを感じる。</p> <p>○学校だよりが頻繁に出されるので、学校がよくわかる。今後とも是非続けてほしい。</p> <p>○子どもがケガをしたという連絡ほど、親にとってつくづく悲しいことはない。病院搬送事故が減っているということで、引き続き努力してほしい。</p> <p>○自転車の乗り方や桜ヶ丘公園での駐輪の仕方、遊び方の指導をお願いしたい。</p>			